

第107回日本陸上競技選手権大会 参加資格

1. 大会期日

2023年6月1日(木)～6月4日(日)

2. 場所

ヤンマースタジアム長居(大阪)

3. 実施種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、100mH、400mH、3000mSC、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

4. 申込資格

2023年度本連盟登録者で、下記の(1)から(3)のいずれかに該当し日本国籍を有する競技者(日本で生まれ育った外国籍競技者を含む)。

但し、男女の5000m、3000mSCでは日本選手権申込資格記録を満たし、参加申込のあった外国籍競技者のうち、出場資格記録の上位2名までをオープン参加として出場を認める。

また、外国籍競技者として参加する2名はターゲットナンバーには含めないものとする。

(1) 第106回日本陸上競技選手権大会の優勝者(但し、その種目に限る)。

(2) 第106回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走で下記の成績を収めた競技者。

1) 女子5000m

シニア女子8kmの優勝者

※但し、本項による申込みは、女子5000m又は女子10000mのどちらか1種目に限る。

(3) 申込資格記録を満たした競技者。

5. 出場の優先順位

申込資格を満たした競技者から、下記を優先順位として出場者を決定する。

(1) 第106回日本陸上競技選手権大会の優勝者(但し、その種目に限る)。

(2) 第106回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走で下記の成績を収めた競技者。

1) 女子5000m

シニア女子8kmの優勝者

※但し、本項による申込みは、女子5000m又は女子10000mのどちらか1種目に限る。

(3) 申込資格記録を満たし、直近で開催された地域選手権3位以内の競技者の中で、当該種目申込資格記録上位3名の競技者。

(4) 申込資格記録を満たした資格記録上位の競技者。

6. 申込資格記録

申込資格記録は、別紙参照。

7. 申込資格記録有効期間

申込資格記録:2022年1月1日～2023年5月14日まで。

8. ターゲットナンバー

各種目の出場可能な人数をターゲットナンバーとして設定する。申込者数でターゲットナンバーを超えることが生じた場合は、上記の申込資格を有する競技者であっても参加を制限されることがある。

9. その他

(1) 室内競技会の記録も有効とする。

(2) 800m(含ハードル)までの記録は電気時計(写真判定装置)で計測したもののみ有効とする。

以上

第107回日本陸上競技選手権大会 ターゲットナンバー・申込資格記録

男子		種目	女子	
ターゲット ナンバー	申込資格記録		ターゲット ナンバー	申込資格記録
56	10.39	100m	40	11.84
42*	20.99	200m	24	24.35
42*	46.99 (300m:33.29)	400m	24	55.40
27	1:49.00	800m	27	2:07.50
30	3:44.50	1500m	30	4:20.00
30	13:36.00	5000m	30	15:40.00
32	13.95	110mH/100mH	32	13.60
24	50.25	400mH	24	59.00
18	8:50.00	3000mSC	18	10:25.00
16	2m15	走高跳	16	1m73
16	5m30	棒高跳	16	3m90
20	7m70	走幅跳	20	6m00
20	15m70	三段跳	20	12m60
20	16m80	砲丸投	20	14m30
20	50m00	円盤投	20	47m20
20	64m30	ハンマー投	20	56m30
20	73m30	やり投	20	54m50

※男子200m、男子400mは予備予選を実施する。

申込資格記録上位18名は予選から、申込資格記録19番目から42番目までの選手については予備予選からの参加となる。

予備予選よりタイムレースで上位6名が予選に参加できる。

予備予選、予選の番組編成については、参加有資格者の資格記録によって決定する。

※男子300mの申込資格記録は、世界陸連スコアリングテーブルにおける同一ポイントの400mの記録に換算して評価する。